

協働事業計画書（協働事業提案書添付用）

<p>1 現状における課題認識 (800字程度)</p>	<p>全国に視覚しょうがい者（以下「ブラインド」という）は30万人以上（神奈川県内には約18000人〔身体障害者手帳保持者〕）おります。また2012年の全国アンケート（八戸工業大学実施）では、外出時における衝突や転倒の怪我を42%の方が経験しておられます。</p> <p>実際、バリアフリー新法により、駅構内などは鉄道会社スタッフの誘導サポートを律は多くの川により、銀の情報提供行きたい間これらd</p> <p>事業決定後の継続申請においては、記述が多すぎると思われます。</p> <p>この説明による提案を作成する方が無料で利用できるよう公開（現在1850ルート）し、その利用が全国に広がってきております。利用状況として判断している月間平均アクセス数が、約5千件（平成21年12月末）から、約5万件（平成25年12月末）と10倍の推移があり、多くの方に利用されているサイトになっております。実際、神奈川県庁へのこのナビ利用は平成25年中には3,249件のアクセスがありました。</p> <p>社会参加や自立の一步は外出からと言われます。現在のブラインドの比率は、先天性の障害者より後天性の方の割合が高くなりました。初めて行く場所は、家族同伴やガイドヘルパー制度を利用し、何度か行く間に一人で行きたいという方も多くおられます。ことばの情報提供を充実することにより、外出手段の選択肢を広げることが、課題解決に繋がります。また、各施設のほとんどがホームページ上で画像や地図で情報提供されており、ブラインドには利用が難しい状況もあり、誰もが利用しやすいユニバーサルな情報提供サイトを</p>
<p>2 個別事業の内容 複数の事業で構成する場合は、1事業につき300字程度。 1事業のみの場合は、500字程度。</p>	<p>これまでの実績が記入しづらい。 (審査時に添付の実績報告書では確認可能) 実施したことで見つかった新たな問題点、改善点などが記入しにくい。 審査会意見をどう反映したかなどの記述がしにくい。</p> <p>事業毎に、年度毎の実績や改善点を記述できるようにし、事業の変遷を読み取れるようにする。</p> <p>[従事者] 当法人、県内有償ボランティア（ブラインド・晴眼者）</p> <p>[実施場所] 神奈川県内・県関連施設</p> <p>[予算] 3,250,000円</p>

3

<p>3 協働を希望する県の所属、県に期待する役割及び協働の成果、他の関係者との連携 (900字程度)</p>	<p>[個別事業名] 事業2 ユニバーサルマップ構築事業</p> <p>[目標] 有識者や各種障害者団体等、さまざまな方から意見を得た上で、誰もが利用しやすいユニバーサルマップを構築する。 [成果] 障害の有無や年齢にかかわらず、さまざまな方の外出支援情報を提供することができ、地域社会の活性化に繋げることができる。</p> <p>[内容] モデル的なルートの検証を経て、本格的なWEB開発作業を行う。と同時に、WEBにて提供する素材づくりを行い、公開用のデータとして構築作業を行う。</p> <p>[実施スケジュール] 4月 事業スケジュール策定 5月～9月 WEB/アプリ開発・現地調査 10月～12月 データ入力・構築 1月～2月 検証 3月 事業報告・まとめ</p> <p>[従事者] 当法人、県内有償ボランティア（晴眼者）及び各種障害者団体</p> <p>[実施場所] 県内全域 [予算] 6,000,000円</p> <p>[事業の予算総額] 9,250,000円</p>
<p>3 協働を希望する県の所属、県に期待する役割及び協働の成果、他の関係者との連携 (900字程度)</p>	<p>[協働を希望する県の所属] 保健福祉局 福祉部 地域福祉課・障害福祉課 教育委員会教育局 支援部 特別支援教育課</p> <p>[県に期待する役割] 該当するものに をした上で（複数回答可） その具体的内容を記入してください。</p> <p>企画立案・計画策定への参画 資金助成 契約関係の構築 イベント等の共催 活動の場の提供 情報の提供・交換 共有 広報の分担 後援名義の使用 県関連部署との調整 市町村や国等の行政機関との調整 その他（ ）</p> <p>[県と協働することで期待できる具体的な成果] 県保健福祉局と協働することにより、各自治体との連絡調整の点で改善が図られるため、完成された原稿の公開についての効果が上がることが予想されます。また、それら神奈川県内施設についての情報を集約したユニバーサルマップを構築し、各種障害者団体にヒアリングすることで、その後の施設増加等にあたりノウハウが蓄積できると考えられます。 また、教育局との協働により、県立平塚盲学校の教職員をはじめとし、受益者である学生達にも、利活用の面で効果があると考えられます。さらにPTA組織を通じて、健常者と一緒に行う本活動は、相互理解にもつながり、教育的効果も高まるものと期待します。</p>

	<p>[事業実施に当たっての連携内容等] 県以外の関係者と連携する場合は、連携の内容、連携の理由、合意形成の状況をあわせて記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携の内容（役割分担）</th> <th>連携の理由</th> <th>合意形成の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>神奈川県視覚障害者福祉協会 県主管課</p> <p>神奈川県社会福祉協議会 県内各市町村 各種障害者団体 鉄道事業者</p> </td> <td> <p>実際に利用の立場に必要な施設の選定について、要望を伺い、県の主管課とも協議します。事業を効果的に実施する上で県内在住等のボランティア募集に関し、協力を要請します。</p> <p>事業が進行するなかで、各市町村からの要望等を受け入れています。ユニバーサルマップ提供にあたり、ヒアリングして参ります。</p> <p>駅構内の情報提供に関し、鉄道事業者との連携が必要となります。</p> </td> <td> <p>県内必要施設など打ち合わせ済み協議済 順次協議中 事業計画の進捗により、協議予定</p> </td> </tr> </tbody> </table>	連携の内容（役割分担）	連携の理由	合意形成の状況	<p>神奈川県視覚障害者福祉協会 県主管課</p> <p>神奈川県社会福祉協議会 県内各市町村 各種障害者団体 鉄道事業者</p>	<p>実際に利用の立場に必要な施設の選定について、要望を伺い、県の主管課とも協議します。事業を効果的に実施する上で県内在住等のボランティア募集に関し、協力を要請します。</p> <p>事業が進行するなかで、各市町村からの要望等を受け入れています。ユニバーサルマップ提供にあたり、ヒアリングして参ります。</p> <p>駅構内の情報提供に関し、鉄道事業者との連携が必要となります。</p>	<p>県内必要施設など打ち合わせ済み協議済 順次協議中 事業計画の進捗により、協議予定</p>
連携の内容（役割分担）	連携の理由	合意形成の状況					
<p>神奈川県視覚障害者福祉協会 県主管課</p> <p>神奈川県社会福祉協議会 県内各市町村 各種障害者団体 鉄道事業者</p>	<p>実際に利用の立場に必要な施設の選定について、要望を伺い、県の主管課とも協議します。事業を効果的に実施する上で県内在住等のボランティア募集に関し、協力を要請します。</p> <p>事業が進行するなかで、各市町村からの要望等を受け入れています。ユニバーサルマップ提供にあたり、ヒアリングして参ります。</p> <p>駅構内の情報提供に関し、鉄道事業者との連携が必要となります。</p>	<p>県内必要施設など打ち合わせ済み協議済 順次協議中 事業計画の進捗により、協議予定</p>					
4 事業の実施体制 (400字程度)	<p>総括責任者 申請団体 特定非営利活動法人 ことばの道案内 理事長 古矢 利夫</p> <p>個別事業の責任者 総括責任者に同じ</p> <p>専門性のアピール 3点ほどあります。まず、私どもの活動は、当事者であるブラインドと晴眼者が最低3名一緒に協力して活動を行うことから、相互の理解を深めることも目的としています。また、全国に広まりつつある現状の中で、どのエリアでも同じ表現で利用できるように、独自のノウハウで規定を設けて活動をしております。全国でこのような活動をしている団体は、他にありません。</p> <p>2点目は、ことばの道案内と連動したユニバーサルマップは、全国どこにもなく、神奈川県の本事業がモデル的な情報提供となります。</p> <p>3点目は、雇用が問題になる昨今、身体障害者の中で就労が難しいと言われるブラインドにとって、活動に参加することにより短期間でも日当が支払われることで、この事業を雇用につなげていきたいと考えております。</p>						
5 事業の広報や成果の発信 (200字程度)	<p>団体が運営することばの道案内検索サイト(ウオーキングナビ)に神奈川県内の駅等から施設までのアクセス情報として、ユニバーサル的に情報提供することで、視覚しょうがい者のみならず反響があると想定します。また、最近では、駅構内のことばの情報提供も要望があり、28年度の事業に広がっていきます。</p> <p>これら情報は、県内在住者は勿論、県外から神奈川県各地にみえる方にも有効で、社会参加や健常者との社会交流など、地域の活性化に繋がります。</p>						

6 負担金終了後の展望等(ゴールイメージ) (800字程度)	<p>[事業の展望] 事業期間全期間の展望 事業1について、2年目までに作成希望自治体との基盤を確立し、神奈川県内の道案内の充実を図りました。その後の新規道案内作成は、各自治体ごとに、進め方を検討してきます。また、4年目以降にことばの駅構内情報作成を進め、最終年度には行政施設の他、観光施設の調査を行い、ことばの周遊ルートを作成します。</p> <p>事業2は、ブラインドのみならず、誰もが利用できるユニバーサルマップを構築します。有識者や各種障害者団体等にヒアリングを行い、最終的に、総合的な利活用をまとめた報告書を作成し、各自治体におけるユニバーサルマップの普及に努めます。</p> <p>負担金終了後の展望 負担金交付終了後は、さらなる道案内作成希望の希望を基に、各自治体負担にて事業を継続していきます。一方、この事業で作成した道案内については、道路状況の変化もあることから継続的にメンテナンスを行っていき、引き続きWEBにて公開致します。具体的には、相模原市、藤沢市などでは、市の協働提案事業にこの事業をおとしこみ、事業展開していきたいと話もいただいておりますので、他自治体にも話を勧めているところです。</p> <p>[団体の活動] 目標：神奈川県内での道案内公開ルートをさらに100ルートあまりの増加をはかり、更新を含めて、道案内作成における視覚しょうがい者の雇用につながる活動を目指します。</p> <p>組織体制の整備：神奈川県各自治体の視覚障害者協会との連携をはかり、道案内原稿の更新などを円滑にする体制を整備します。</p> <p>事務所や設備等の整備：予定なし</p> <p>財政基盤の整備：行政施設のみならず民間企業等との道案内づくりも開始することで、財政確保をして参ります。最近では、大型店舗よりブラインドにとっては利便性の高い、コンビニ等と連携をはかっております。</p> <p>他とのネットワークの構築：ことナビでは、階段数なども情報にいられていることから、車いすご利用の方からも有益な情報という声をいただいております。ブラインドのみならず、ユニバーサルな情報として提供できるよう、肢体不自由な方の団体等との連携や、県や各自治体で管理しているバリアフリーマップ等に、アクセスしやすいポータルサイトの構築を提案して参ります。</p>
7 前年も同じ事業で応募している場合は、見直した内容 (200字程度)	<p>当初の計画では、事業3年目はユニバーサルマップの構築のみと予定しておりましたが、実際の情報提供を考え際に、映像提供する場面と、既作成の道案内で道路状況の変化により、情報に相違があってはいけないことから、事業1においても、メンテナンス(更新)事業を実施することとしました。</p>

平成 27 年度協働事業収支予算書

(単位：円)

科目	金額	積算内訳	備考
収入の部			
会費収入			
事業収入			
寄附金	240,000		
借入金			
補助金等			
協働事業負担金	9,000,000	基金 2 1 協働事業負担金	
その他	10,000	ボランティア保険 (500円×20人)	
収入合計(A)	9,250,000		
支出の部			
事業 1	3,250,000		
1 人件費	3,200,000		
(給与)	1,200,000	スタッフ ⑩100,000円×12ヶ月	
(更新原稿謝金)	800,000	有償ボランティア ⑩8,000円×1回×2人×50日	
(旅費交通費)	200,000	調査交通費 ⑩2,000円×1回×2人×50日	
(制作費)	1,000,000	WEB構築業務 ⑩10,000円×100種	
2 物件費	50,000		
(印刷製本費)	10,000	原稿他印刷 ⑩10円×1,000枚	
(ボランティア保険)	10,000	ボランティア保険 ⑩500円×20人	
(会場費)	10,000	会議室利用 ⑩5,000円×2回	
(雑費)	20,000		
事業 2	6,000,000		
1 人件費	2,570,000		
(映像制作謝金)	800,000	有償ボランティア ⑩8,000円×1回×2人×50種	
(調査交通費)	200,000	調査交通費 ⑩2,000円×1回×2人×50種	
(制作費)	1,500,000	WEB構築業務 ⑩15,000円×100種	
(謝金)	40,000	有識者・障害者団体等への謝金	
(旅費交通費)	30,000	事業に関する旅費	
2 物件費	20,000		
(印刷製本費)	10,000	原稿他印刷 ⑩50円×200枚	
(雑費)	10,000		
3 その他	3,410,000		
(委託費)	3,410,000	WEB・アプリ開発費	
支出合計(B)	9,250,000		
収支差額(A)-(B)	0		

1 必要な科目のみ記入してください。

2 個々の金額の積算内訳を必ず記載し、合計した結果が収入合計(支出合計)と一致するようにしてください。

* 支出計画 (単位：円)

(単位：円)

区分	金額
第1四半期(4月~6月)	1,720,000
第2四半期(7月~9月)	3,970,000
第3四半期(10月~12月)	2,730,000
第4四半期(1月~3月)	830,000

経費区分	金額
人件費	5,770,000
物件費	70,000
固定資産取得支出	
その他	3,410,000
合計((B)と同額)	9,250,000

協働事業継続希望調査

(単位：円)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
事業計画の概要	1 既存施設の道案内メンテナンス事業及び、2 自治体の新規追加道案内作成事業	1 ことばでわかる駅情報作成事業(神奈川県内主要20駅程度の駅構内情報等を作成、公開する)	1 ことばの周遊ルートの作成事業(行政・観光施設などを結ぶことばの周遊ルートを作成、公開する)		
	2 ユニバーサルマップのWEB構築事業	2 上記作成成分をユニバーサルマップとのリンク等構築	2 上記作成成分をユニバーサルマップとのリンク等構築		
収入予算の概要					
ボランティア保険	10,000	10,000	10,000		
協働事業負担金	9,000,000	7,024,000	5,516,000		
補助金等					
事業収入		200,000	500,000		
寄付金等	240,000				
収入予算の計	9,350,000	7,234,000	6,026,000		
支出予算の概要					
事業 1					
1 人件費	3,250,000	5,700,000	4,200,000		
2 物件費	50,000	34,000	826,000		
3 その他					
事業 2					
1 人件費	2,500,000	100,000	100,000		
2 物件費	90,000	1,400,000	900,000		
3 その他	3,410,000				
支出予算の計	9,350,000	7,234,000	6,026,000		

平成 28 年度以降も事業を継続する場合(最長平成 31 年度まで)の継続期間分の事業計画と収支予算をご記入ください。

神奈川県知事 殿

改正案

平成 年 月 日

提案者 郵便番号
住 所
団体名
代表者氏名

印

平成 年度協働事業の継続を提案します。

事業の概要

事業名	
事業分野	
事業費	[総事業費] 円 [負担金希望額] 円
他の助成金申請予定	
事業実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (継続希望) 継続を希望する場合は継続希望する年度を記入してください。 (継続希望期間) 平成 年度・平成 年度・平成 年度 平成 年度

の挿入作業を減らし、簡単に記入できるように変更します。

【事業の目的と解決すべき課題、内容】

[目的](50字程度)

[内容](200字程度)

継続申請専用の様式を新たに作成します。

事業に集中して記述できる様式にします。

1 個別事業の内容

[事業名]
[目 標]

[成 果]

[内 容]

[実施スケジュール]

[従事者]

[実施場所]

[予 算]

(複数事業がある場合は、適宜追加してください)

[事業名]
[目 標]

[成 果]

[内 容]

[実施スケジュール]

[従事者]

[実施場所]

[予 算]

・年度毎に実績を記入できるようにします。
・事業による新たな問題点や改善点などを記入できるようにします。
・審査会意見なども記入できるようにします。

2 年度毎の事業計画・実績、今後の予定

(そこで見つかった新たな課題やその解決策、見直した内容も記載する。)

[事業計画と実績]

[1年目]

(実績)

・事業1	講座事業	(内容)	件実施	人受講
・事業2	モデル構築		エリアでモデル取り組み 人に提供、来年度 地区に 展開予定	
・事業3	事業		事業を実施 件実施	

・問題点と改善策
・審査会意見も記入する。

[2年目]

・事業1 講座事業

(実績)

件実施 人受講

・年度毎に事業内容と実績を記述
・事業により新たに生じた問題点や改善策などを記載する。

[3 年目] (実績)

[4 年目] (実績)

[5 年目] (実績)

[基金事業終了の翌年]
(基金終了後、どのように事業展開するかを具体的に記入してください。)

【事業の展望】
【基金終了後のプラン】

- 【団体の活動】
- ・組織体制
 - ・財政基盤の整備
 - ・他とのネットワークの構築

・基金終了後のプランをより具体的に記述させることで、自立に向けた取組みを検討するようにした。

3 協働部署の所属と役割及び協働の成果、他の関係者との連携(900 字程度)

[協働部署]

[県に期待する役割]() 番号を記入

企画立案・計画策定への参画 資金助成 契約関係の構築 イベント等の共催
 活動の場の提供 情報の提供・交換・共有 広報の分担 後援名義の使用
 県関連部署との調整 市町村や国等の行政機関との調整
 その他()

・新たに協働部署を追加したい場合は、こちらに記入してください。
 課 追加したい理由：

[県と協働することで期待できる具体的な成果]

[事業実施に当たっての連携内容等]

県以外の関係者と連携する場合は、連携の内容、連携の理由、合意形成の状況をあわせて記入してください。

連携の内容(役割分担)	連携の理由	合意形成の状況

4 事業の実施体制(400 字程度)

【事業毎に記入】

総括責任者

個別事業の責任者

専門性のアピール

5 事業の広報や成果の発信 (200字程度)
6 その他(変更事項等)
前年度からの変更事項(団体名称、代用者、役員、所在地、ホームページ等の変更がありましたら、こちらに記載してください)

平成 年度協働事業収支予算書 (単位:円)

科 目	金 額	積 算 内 訳	備 考
収入の部			
収入合計(A)	0		
支出の部			
事業1(事業)			
1 人件費			
2 物件費			
3 その他			
支出合計(B)			
収支差額(A)-(B)	0		

収支予算書は、ワード版、エクセル版のどちらでも構いませんが、積算、集計等がありますので、できればエクセル版をご利用ください。(ダウンロードファイルあり)

- 1 必要な科目のみ記入してください。
- 2 個々の金額の積算内訳を必ず記載し、合計した結果が収入合計(支出合計)と一致するようにしてください。

*支出計画 (単位:円)

区 分	金 額
第1四半期(4月~6月)	
第2四半期(7月~9月)	
第3四半期(10月~12月)	
第4四半期(1月~3月)	
合計((B)と同額)	

(単位:円)

経費区分	金 額
人件費	
物件費	
固定資産取得支出	
その他	
合計((B)と同額)	

協働事業継続希望調書

(単位：円)

区 分	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
事業計画の概要					
収入予算の概要					
収入予算の計					
支出予算の概要					
支出予算の計					

平成 年度以降も事業を継続する場合(最長平成 年度まで)の継続期間分の事業計画と収支予算をご記入ください。